

[099]九州大学大型計算機センターニュース : No.99

<https://doi.org/10.15017/1484977>

出版情報 : 九州大学大型計算機センターニュース. 99, pp.1-9, 1975-07-16. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :



1975. 7. 16

九州大学 大型計算機センターニュース

No.99

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL.092-641-1101)
内線 2256

目 次

◇ キャンセルに伴う優先処理について.....	1
◇ ファイル操作マクロの障害について.....	1
◇ 利用の手引の訂正.....	2
◇ CRBOジョブの使用制限の緩和について.....	3
◇ 利用者講習会開催について.....	3
◇ システムの現状について.....	4
◇ XYプロッタの出力形式の変更について.....	6
◇ プログラム相談について.....	8

◇ キャンセルに伴う優先処理について

障害ジョブのキャンセルに伴う優先処理を下記の要領で行います。

記

1. 対称ジョブ B, C, D, E ジョブ
2. 依頼方法 プログラム相談室に準備している再計算依頼カードに必要事項(プログラム相談員の認め印)を記入して、ジョブ調査依頼書、障害リストと共に受付窓口提出してください。このとき ¥NOカードのジョブ種別を“E”に修正してください。

◇ ファイル操作マクロの障害について

現在¥CHANGE, ¥DELETE及び¥UPDATEのマクロでファイルを更新中にシステムダウンすると作業用ファイルが残り、ジョブの再実行ができないという障害が発生しています。この現象は“SUDENI TANO JOB DE FILE O SHIYOO CHU”

のメッセージがリストに出力され区別できますので、作業用ファイルを消去するジョブを流してください。

ジョブ構成例

¥NO

¥USER

¥QJOB

¥CLEARFL ファイル名 [OUTPUT=REMOTE] [STEP=n]

¥UPDATE

.

.

.

¥JEND

パラメータの説明

ファイル名 : 対象となるファイル名 (省略不可)

OUTPUT=REMOTE : 端末へ出力するとき指定 (省略時センター出力される)

STEP=n : 複数個の作業用ファイルを消去するとき指定

¥CLEARFLマクロの使用にあたって必ず正常終了を確認の上、該当ファイルの更新を行なってください。

なお、現在¥CHANGE、¥DELETE及び¥UPDATEマクロを使用すると

ERRORLB043W PARAM GA MATIGATTEIRU のメッセージが出力されることがありますが、これはジョブの実行に何ら影響はありません。

◇ 利用の手引の訂正

1) 基本編

頁	行	正	誤
16	下6	毎月の	四半期分の

2) ファイル編暫定版

頁	行	正	誤
10-2	下8	UNITNO=n	UNITO=n

基本編とファイル編の
頁・行数が入れ変わる。

◇ CRBOジョブの使用制限の緩和について

従来CRBOで使用できるジョブ種別はA, Bだけでしたが, C, Dも使用できるようになりました, また特殊I/O (CP, MT, XYプロッタ)もB, C, Dジョブで使用できます。これに伴い, 先にセンターニュースNO. 96でお知らせした「特殊I/O使用ジョブについて」の項目のうち, ¥GRAPHIC, ¥PTRTODA以外のマクロはすべて使用できます。

RBOは, 愛媛大学, 山口大学工学部以外の端局からは利用できませんのでご了承ください。

◇ 利用者講習会開催について

7月10日, 11日に計画していたFORTRANの講習会を都合により7月23日, 24日に延期して, 下記の要領で行うことになりました。お詫びとともにお知らせします。

記

- ・ 期 日 7月23日(水), 24日(木)
- ・ 対 象 基本文法を知っている人でさらに効果的使用を望む人(当センター登録者)
- ・ 参加人員 60名
- ・ 内 容 FORTRAN(M-V FORTRAN)について
- ・ テキスト FACOM 230 M-V FORTRAN解説編(Ⅱ)
(生協書籍部にて販売)
利用の手引(暫定版)「ファイル編」「制御文編」
- ・ 会 場 農学部 防音教室201(2階)
- ・ 時 間 割

各自持参

	9:30	12:00 13:00	16:00
23日	あいさつ	FORTRAN基本文法	昼 休 み 実行時のファイル利用について
24日		入出力について	昼 休 み LISTの見方と エラー処理 DEBUG文 オーバーレイ構造

• 申込み先 西利協事務局 (TEL 641-1101 内線 2264)

• 申込み期限 7月21日(月)

なお、FORTRAN-Hの講習会は10月中旬に計画しています。

◇ システムの現状について

1. ¥FORTRANHのパラメータの指定方法について

¥FORTRANHのパラメータ

DOUBLE(1), DOUBLE(2), DOUBLE(3), DOUBLE(4)

を指定する場合はこれらのパラメータの全体を()でくくって指定してください。

<例>

¥FORTRANH MAP, (DOUBLE(2))

¥FORTRANH (DOUBLE(4)), STEP=1

()でくくられていない場合はパラメータエラーとなり、DOUBLE(1)を指定したものとみなして翻訳されます。

2. CRBOおよびRBOでXYプロットジョブを流す場合

CRBO及びRBOでXYプロットジョブを流す場合、¥QJOBでJOBOUT=CORRのパラメータを指定するとジョブステップPSPUTY 1以降の結果が出力されません。各ジョブステップでパラメータOUTPUT=REMOTEを指定してください。ただし、

¥PLOT RUN, ¥PLOT OUTでOUTPUT=REMOTEを指定しても、PSPUTY 1, PLOT OUTのジョブステップの結果はセンター出力となります。

3. FORTRANで直接編成ファイル入出力文を使う場合の¥F. WORKの指定について

FORTRANで直接編成ファイル入出力文を使う場合、順編成ファイルの場合と異なりファイルの追加ができませんので、あらかじめファイルの容量を計算して、¥F. WORKのTRKパラメータでトラック数を指定してください。(直接編成ファイル以外ではこのパラメータは指定しないでください)。又、第0ブロックに書き出した場合は同一ジョブステップ以外でアクセスできなくなりますのでご注意ください。

例 ¥FORTRAN

CALL DFILE(1, 80, 1A)

¥LIEDRUND

デ - タ

¥F. WORK FO1, TRK=50, FCBPRM=YES, BLKSIZE=
860

¥JEND=

なお、¥F. WORK (または¥WKFILE, ¥A. WORK) で使用するファイルは磁気ディスクパックF477Kにとられます。

4. トラックの記憶容量

大記憶装置の種類により1トラックに書ける記憶容量は決っています。(F477Kでは13080バイト, F472Kでは7294バイト) ファイルのREAD/WRITEはブロック単位で行われ、このブロックの大きさはプログラムまたはマクロのBLKSIZEの指定で決りますが、実際にファイルに書き出される場合はブロックとブロックの間のギャップやブロックに関する情報などが付加されますので1ブロックあたりの大きさはBLKSIZEで指定した値より大きくなり、従って利用者からみた1トラックあたりの有効な記憶容量は少なくなります。

ブロックの大きさ及び1トラックあたりのブロック数の計算式は次のとおりです。

1. ブロックの大きさ

装 置	1トラックの 記 憶 容 量 バイト	ブロックの大きさ	
		最終ブロック以外	最終ブロック
F477K	13080	135+DL	135+DL
F472K	7294	$101 + \left(\frac{534 \times DL}{512} \right)^{*1}$	DL

ただしDLはBLKSIZEで指定したバイト数

*1: 切り上げ演算を行う

2. 1トラックあたりのブロック数

① 最終トラック以外のトラック

$$\text{ブロック数} = \left\lceil \frac{\text{1トラックの記憶容量(バイト)} - \text{最終ブロックの大きさ(バイト)}}{\text{最終ブロック以外のブロックの大きさ}} \right\rceil + 1$$

② 最終トラック

$$\text{ブロック数} = \left\lceil \frac{\text{トラックの記憶容量(バイト)} - 1}{\text{最終ブロック以外のブロックの大きさ(バイト)}} \right\rceil$$

ただし $\lceil \quad \rceil$ は、小数点以下を切りすてる。

(例) FORTRANの実行時に直接編成ファイルとしてスクラッチファイルを使うとき
(%F, WORK)ファイルはF477Kにとられる。BLKSIZE=360とする
と

$$1 \text{ ブロック} = 135 + 360 = 495 \text{ バイト}$$

$$\text{最終トラック以外のブロック数} = \left\lceil \frac{13030 - 495}{495} \right\rceil + 1 = 26$$

$$\text{最終トラックのブロック数} = \left\lceil \frac{13030 - 1}{495} \right\rceil = 26$$

5. LIEDのパラメータCROSSの指定について

LIEDのパラメータCROSSは、実行形式プログラムで使われている記号の参照関係を印刷することを指定するものですが、未定義記号があった場合、参照している記号に対して未定義であるという旨のメッセージは出ますがLIEDの完了コードは000となります。従って、未定義記号があってもプログラムは実行され、実行時にアボートされますので、CROSSの使い方には注意をしてください。なお、対象となるマクロは%LIED, %LIEDRUND, %LIEDRUNH, %LIEDRUNA, %PLIRUN, %CBLRUN, %PLIBRUNです。

◇ XYプロッタの出力形式変更について

XYプロッタについてはセンターニュースでお知らせしてきましたように種々の問題があり、利用者の方々に大変ご迷惑をおかけしましたが、今回、出力形式を変更いたしました。

主な変更点は次のとおりです。

① 仕分情報をデータの前に出力するようにしたこと。

プロッタ出力が正常に終わった場合はデータの後に内部ジョブ番号(12桁)が出力されるが、何らかの原因でプロッタ出力が途中で打ち切られた場合はデータの後の仕分情報は出力されない。

- ② 会計情報収集をジョブステップ PLOTOUT でおこなう様にしたこと。

これにより LP 仕分情報にプロッタ出力がある旨の情報が出力されているのにプロッタ出力結果はない、ということとはなくなった。

- ③ ジョブの制限値による打ち切りが可能になったこと。

出力量が制限値（ジョブ種別による制限値または ¥QJOB で指定した値）を越えた場合は制限値以内のデータを出力するようになった。制限値で出力が打ち切られた場合はジョブステップ PLOTOUT の完了コードは 500 となり、データの後の仕分情報は出力されない。

- ④ INITIAL ORIGIN OVER エラーが発生した時、エラー発生直前までのデータを出力するようにしたこと。

ただしこのエラーを検出するのは仕分情報より 19 cm 前（即ち、データ出力開始時の原点より X 方向に 30 cm）の時点なので、そのジョブの仕分情報に上書きされる可能性がある。

- ⑤ 仕分情報の出力形式変更により、正常にプロッタ出力が終了した場合、SIDE END エラーが 4 回発生し、ジョブステップ PLOTOUT の完了コードは 469 となる。

これらの変更により、4 月以後の問題点はかなりの部分が解決されたと思いますが次の点は従来通りです。

- ① プログラム実行時にエラーが発生して完了コードが 467 以上となった場合はそのジョブステップで実行が打ち切られるため、プロッタデータはファイルに正しく書き出されていてもプロッタ出力はない。ただし従来と異なりこの場合 LP 仕分情報には“XY”の出力はありません。

- ② PLOTOUT のジョブステップは、正常に処理が終了した場合完了コードは 469 となるので、後続のジョブステップが指定されていてもそれらのジョブステップは実行されない。

- ③ データ量が多くてファイルが足りなくなった場合、プログラム実行時に

PS012 FILE IS TOO SMALL

のエラーメッセージを出力し実行を打ち切ってしまう。

ほとんどの場合このエラーとなることはなく、データのミス等でおこることがほとんどですので、データをチェックしてください。

- ④ プロッタサブルーチンが実際には実行されていないのに（即ち、プロッタデータがない）

¥PLOTOUT が指定されているとき、PLOTOUT のジョブステップで

PLOT, C PSPDATA

の後に何も出力されず、完了コードは 000 となる。

- ⑤ ¥APRUN でパラメータ PLOTTER=USE の指定がないか、または ¥PLOT RUN が

指定されていないのにプロッタサブルーチンを呼び出した場合、実行時に

PS 013 SOFT ERROR

のメッセージが出力され、実行を打ち切る。

◇ プログラムの相談について

プログラム相談を夏季期間、次のとおり変更実施いたしますのでご了承ください。

7月11日(金)～9月10日(水)

月, 水, 金 10時から12時まで相談を行いません。

また、8月15日(金)は業務停止のためプログラム相談は中止します。

◇ 6月20日以前に作成されたXYプロッタのEBについて

6月20日からXYプロッタの出力形式を変更しておりますので、それ以前に作成されたXYプロッタのEBは至急作りかえてください。そのまま実行させた場合、出力形式の変更に伴う種々の改善は無効となります。（場合によつては、XYプロッタの出力結果が返らないことがあります。）